

令和5年4月1日現在 人口 2,620人 男 1,276人 女 1,344人 世帯数 1,098戸

村櫛町で将来に向け活躍しているSDG's企業 第2弾

(株) グローバルエナジー 風力発電で次の主力電源にする！！



垂直軸2段式2枚ブレード



村櫛試験場、色々な形の風車が立っています

花緑児童公園の南側にグローバルエナジーの試験場があり、変わった形をした風車がいくつも並んでいます。なんとこの風車は従来と違った考えの独自で世界初の画期的な物だとは村櫛のほとんどのの方は知らないと思います。

風力発電は、石油エネルギーに代わる再生可能エネルギー、SDG'sの切り札と言われています。開発に数千回のトライ＆エラーを繰り返し生まれたのが「ペルシオン式風車」(写真)です。今までの常識に捉われず、自然界の動物の体型・動きを観察し参考にし、今までの形状では得られなかった画期的な発電効率を導き出しました。今までの羽根の半分以下の長さで倍以上の出力が得られ、音もほとんど出ないというものです。この他にも水力発電、省エネで大量輸送可能・滑走距離がほとんどいらない未来の乗り物として期待している飛行艇の研究・開発も進めています。鈴木社長は、テレビ番組「ガイアの夜明け」に4回出演「常識は非常識、結果がすべて」の考えの基、日々仕事をしているパワフルな方です。(グローバルエナジー 鈴木社長) 写真提供 グローバルエナジー ホームページ



微風でも回転、高性能で音がしない垂直軸風車



羽根のない飛行艇



鈴木社長

(株) CCT-JAPAN 浜名湖ベース 絶滅危機のタツノオトシゴ養殖！！



しっぽを振り回しながら泳ぐ子もいます



かなり混雑しています 太い筒に掛かっています



絶滅のおそれがあるタツノオトシゴ

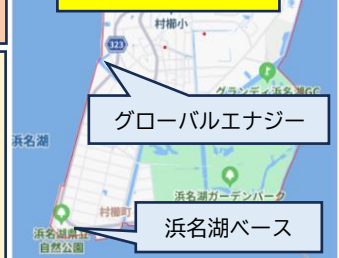
CCT-JAPANは、社会の役に立ちたいという願いからスタート、環境問題に取り組んでいる企業です。

浜名湖ベース(タツノオトシゴ養殖場、2022年9月着工)は、村櫛漁港の西側突き当りにあります。村櫛にこのような企業があると嬉しくなりました。ある国では、古くからタツノオトシゴを漢方薬として珍重し、経済発展とともに世界中の海で乱獲を繰り返した為、激減しました。

タツノオトシゴは絶滅危惧種です。寿命は3年、年に3回ほど子供を産みます、パートナーが捕獲されてしまうと次の相手を探し繁殖するには時間がかかり、見つからずに死んでしまうこともあるそうです。今年は辰年、村櫛にタツノオトシゴが多くいるので、皆さんにいいことがあるかも？

ここでは世界一多くの種類のタツノオトシゴの繁殖を目指しています。「今後は地元企業の方と一緒に商品開発や、地元の小学校・幼稚園など子供さんに見学できる様にしたいと思っています。」と話してくれました。(CCT-JAPAN 上田さん) 写真提供 CCT-JAPAN ホームページ

村櫛のSDG's企業



グローバルエナジー

浜名湖ベース



施設内

浜名湖ベース 入口看板



外から見るとタツノオトシゴとアマモの看板が見えます

村櫛町内安全のためカーブミラーの点検をしました！！



浜松西警察署
村櫛町駐在所
佐野誓建さん

カーブミラーは見通しの悪い区間・地点において、車両が安全かつ円滑に走行するために、他の車両または歩行者を確認出来るように設けられた道路上の鏡です。道路反射鏡とも呼ばれます。
12月に点検をして、浜松市（南土木事務所）に修繕依頼をするとともに、1月に3か所のミラー交換、1か所の新設をしてもらいました。

交通安全宣言の町「村櫛町」の皆さん、いつも安全運転ありがとうございます。
どんな時も「安全は全てに優先する」というのを忘れないで下さい。運転手の皆さんが、基本を忘れず余裕を持った運転をしてくだされば、交通事故は減るはずですよ。
今回、カーブミラーなどの点検、取り換えをしていただいたので、有効活用し安全運転よろしくをお願いします。

2月の主な活動



新女性部研修会
2月12日（月）
於：村櫛会館



<へちまをつかって SDGs >

村櫛町は浜名湖に3方囲まれていて、SDGsの目標14「海の豊かさを守ろう」は、身近で取り組みやすい課題です。今世界でもっとも注目されている、海にちなんだ環境問題は「マイクロプラスチック問題」と言われています。私はこの数年間、食器洗いやお風呂掃除をプラスチックのスポンジをやめて、へちまのスポンジを使っています。毎日の食器洗いを1年間続けると1000回も排水からマイクロプラスチックが流れているんです。これって小さいことでしょうか？かつて浜松では小学校でへちまを育てていたと聞きました。浜松のへちまは世界一の品質を誇っていたのです。明治時代、浜松でへちま産業を発展させた人は、なんと村櫛町のすぐ隣の白洲町にゆかりのある方でした。SDGsを次世代につないでいきましょう！（浜松へちま・ミライ プロジェクト代表 五明さん）

ユーカリ文庫 案内



ユーカリ文庫の歴史

村櫛会館内の「ユーカリ文庫」は、昭和22年に村役場の横に図書室が出来て蔵書770冊で発足し、昭和26年新設され村櫛公民館図書部となり、平成6年、村櫛会館建設にともない現在の場所に移りました。

「ユーカリ文庫」の名は、元小学校にあった大きなユーカリの木から名付けられました。自治会の助成により、毎月4冊ほどの新本を購入しています。本を選ぶのに毎回苦心しているのでリクエストがあると助かります。「他の図書館より早く新刊が読めてうれしい。」との声に救われています。（や）



管理運営者
松下康文さん（左）
袴田さとるさん（右）

村櫛でよく目にする鳥



カモ目、カモ科
マガモ属、カルガモ

カルガモ

水辺に群れて生活しています。春から夏にかけて10羽程度のヒナを連れて泳いでいたりする。市街地の川沿いの草地に巣を作る。「ガアガア」「ゲエゲエ」と鳴き、植物の種子やタニシを食べます。稲を踏み荒らし食べてしまうことから害鳥でもある。公園の池など人間の生活圏でも普通にみられる。日中は座ったりして休んでいて、夜になって活動するのが一般的です。

自治会事務所・村櫛会館
053-489-2002
<http://www.murakushi.net/>

自治会の活動予定	3月の行事予定		4月の行事予定	
	3月1日(金)	広報委員会	4月1日(月)	広報委員会
3月2日(土)	ばんぷきんクラブ/第4回組長会	4月4日(木)	村櫛町自治会監事監査/部長会	
3月3日(日)	津波避難訓練	4月8日(月)	回覧物配布	
3月8日(金)	回覧物配布/部長会	4月12日(金)	役員会	
3月10日(日)	墓地町有地清掃	4月13日(土)	第1回組長会	
3月15日(金)	第2回会館運営委員会/役員会	4月14日(日)	ポンプ点検	
3月16日(土)	ガーデンパークふれあい花壇植え替え作業	4月15日(月)	~16(火) 総会資料印刷・製本	
3月17日(日)	自主防災隊入退隊式/ポンプ点検	4月22日(月)	回覧物配布	
3月24日(日)	避難所運営訓練	4月26日(金)	広報委員会	
3月29日(金)	ゴミ集積所点検等	4月30日(火)	村櫛会館終日休館(村櫛会館清掃の為)	